

光顕試料作製室 標本作製セミナー

in situ ハイブリダイゼーション(ISH)
RNAscope[®]のご紹介

in situ ハイブリダイゼーション(ISH)は、組織や細胞において特定の DNA や mRNA の分布や量を検出する方法として、ウイルス感染や腫瘍などの診断に用いられるほか遺伝子発現を研究する上でも注目されています。このセミナーでは、FFPE 組織・凍結組織・培養細胞等サンプル中の mRNA を、独自の RNA *in situ* ハイブリダイゼーション法により検出・視覚化する RNAscope[®] (ACD 社) の特長と実施例をご紹介します。

日 時 : 平成 29 年 2 月 15 日(水) 14:00~15:30

内 容 : ① RNAscope[®]の原理と特長
講師 : Chris Bunker.PhD (Advanced Cell Diagnostics 社)

② 名古屋大学腫瘍病理学教室 榎本篤准教授グループによる実施例

場 所 : 医系研究棟 3 号館 4 階 実習室

定 員 : 20 名

申込期間 : 2 月 14 日正午まで

申込方法 : 電子メールで、Subject を“RNAscope”として、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、
kiki.micro@med.nagoya-u.ac.jp 宛にお申し込みください。

セミナーについてのお問い合わせ先

受付担当 : 光顕試料作製室 (内線 2397、Email : kiki.micro@med.nagoya-u.ac.jp)

講習会担当技術職員 : 医学系技術支援室 形態機能解析部門 牛田かおり

※Web でも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)

- パラフィン切片にも対応
- たった約8時間でアッセイ終了
- 1コピーのRNAから検出できる

RNA ISHの新次元 RNAscope®

RNA *in situ*

**ハイブリダイゼーション
セミナー開催！**

決定

**2月15日(水)14時～
医学研究棟3号館4階 実習室**

講師：Chris Bunker, PhD

(Advanced Cell Diagnostics社)

RNA ISHは煩雑で難しい...はもう古い！
ユニークなプローブデザインとその増幅方法
によって、FFPEや凍結組織、細胞サンプルの
RNAを1コピーから検出でき、ターゲット遺伝
子の発現と細胞内局在を検証できる
それが新テクノロジー RNAscope®です。

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学教室 榎本篤准教授
グループの実施例と共に、RNA ISHの基礎からご紹介します！



**NO ANTIBODY!
NO PROBLEM!**

お申し込み方法：件名を"RNAscope"として、氏名・所属・内線番号・メールアドレス
を明記の上

kiki.micro@med.nagoya-u.ac.jp 宛にお申し込みください。

受付担当：
光顕試料作製室
内線 2397

RNAscopeに関するお問合せ：
ACD ジャパン(株) 望月 明日香
e-mail : amochizuki@acdbio.com

